



中部電力

鳥類の営巣、糞害対策

忌避剤を用いて カラスによる鳥害 を防止します。

背景・目的

- 鳥類が原因となる故障停電、糞害等が問題となっており、より効果的な対策技術の開発が求められています。
- 本研究では、電力設備トラブルの原因の多くを占める「カラス」を対象として、市販の忌避剤の効果を見極め、現場適用の可能性を評価します。



停電原因になる柱上の営巣



電線の下に落ちたカラスの糞（白い点）

特長

- 試験用ゲージで、忌避剤の効果を確認します。
- 忌避剤の周辺環境への影響や落下の有無等、課題の検討を行います。
- 現場適用に向け、電力設備で忌避剤の効果を検証します。

用途

- 営巣材による故障の低減
- 営巣除去業務の低減と巡視の効率化
- 糞害防止



試験用ゲージ



街路樹への影響調査



電力設備への塗布



忌避剤を嫌がるカラス

開発者の ひとこと

お客さまにご協力を頂き、カラスが忌避剤を嫌がる様子を4ヶ月間、ビデオカメラにより撮影することができ、大変感謝しております。この貴重なデータを活用し、現場適用の検討を行い、より効果的な鳥害対策につなげていきたいと考えております。